



## ご挨拶

橋本ロータリークラブ 会長 坂口 卓

皆さま、こんにちは。80 才になる自分自身の体調管理に気を付けながら、もうすぐ私の番だと思っていた矢先に、100 年に一度と言われる新型コロナウイルス禍による大災厄が世界中に感染拡大して、人々の全ての活動が停止状態になり、今現在もまだまだ終息の気配はありません。そのような状況の中、体調を考えれば、例会出席を躊躇された方もおられたと思いますが、坂口年度の初例会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。

国際ロータリーと 2640 地区ガバナー本部からもロータリー活動は、2020 年末まで全ての活動を延期または中止するように指示がありました。感染予防を十分行って、会員・家族・関係者の健康と安全を最も重視して行うよう指示があり、予定されていた全ての新年度に備えた行事は中止になってしまいました。また、地区として最も大事な地区大会も 10 月の開催から 2021 年 3 月に延期になり、ガバナー公式訪問も橋本ロータリークラブは理事・役員のための少人数での実施となります。

2019-2020 年度の理事・役員の皆様方も年度終了期にこの危機が起こり、ロータリークラブ運営に大変ご苦労なされたことにお礼申し上げます。

2020 年は日本にロータリーが誕生して 100 年目に当たります。そして我が橋本ロータリークラブが創立 65 周年の大切な節目になります。また、2 回目の東京オリンピック開催の年でもありましたが、1 年延期になり、大変残念に思います。

さて、国際ロータリー(RI)、世界本部の 2020-2021 年度会長、ホルガー・クナーク氏は、本年度のテーマを「ロータリーは機会の扉を開く」としています。「私たちの奉仕を必要とする人々に機会を提供する」ロータリアンになれば、これまでになかった新しい奉仕の機会が得られると言っておられます。2640 地区ガバナー藤井秀香氏も、2020 年 1 月にカリフォルニア州サンディエゴでの国際協議会に出席され、RI のテーマに沿ってこの地区のロータリー活動を、より一層活発化して発展させようと意気込んでおられました。しかし、前述のような状況になり、地区ガバナーの意思の伝達が「フェースツーフェース」ではなく、DVD・紙ベースの情報伝達となり大変残念です。

2020-2021 年度は、橋本ロータリークラブ創立 65 周年にあたります。橋本ロータリークラブの地域に対する奉仕活動を認識してもらう絶好のチャンスと捉え、昨年度から石脇正雄創立 65 周年記念実行委員長を中心に、各事業委員長が準備を進められました。全面的な見直しの必要が生じています。

本年度の例会開催は、新型コロナウイルス感染拡大第 1 波収束後も「新しい生活様式」の下、感染予防対策を万全にして安全第一に柔軟に決して無理をせず、例会を開催する予定であります。また、オンライン形式の例会の在り方も考えなければならない時代になってきていると思います。私の年度は、新型コロナウイルス感染予防ワクチン、治療薬が開発され、第 2 波、第 3 波の心配がなくなるまで「安全第一」を最も重視し、ロータリー活動の基本である「四つのテスト」に言行を照らし、この大災厄に対して「人事を尽くして天命を待つ」の心構えで無事にやり過ごし、楽しい例会、ロータリー活動ができる日が 1 日も早く来ることを期待します。最後に理事・役員・地区役員はじめ皆様方の「和衷協同」のお気持ちで、橋本ロータリークラブの運営・発展へのご協力を心よりお願い申し上げます。挨拶と致します。ありがとうございました。